



広報

MATSUYAMA CITY

まつやま

平成23年 2011.11.15

No.1210

主な内容

- 人事行政の運営状況……………4・5面
- 平成23年度上半期の財政事情……………2面
- 市民ガイド……………7~11面
- 河野氏まつり……………12面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山

愛媛のすこ〜いもの松山に大集合!!

えひめ・まつやま 産業まつり 初開催



フォーミュラカーに乗ってレーサー気分



多くの人でにぎわう餅まき



おいしいものを食べて笑顔



津島樹根太鼓



交流都市(横須賀・熊本・廿日市・呉市・斑鳩・精原町)をPR



お相撲さんに挑戦



足できねを操作するダイガラを使って餅つき

県内最大級の産業の祭典「えひめ・まつやま産業まつり」『すこいもの博2011』が、10月21日の前夜祭を皮切りに23日まで、城山公園やすらぎ広場で初めて開催されました。まつやま農林水産物ブランドをはじめとするさまざまな松山の産物を知ってもらう松山に人を招く「地産知招」と、産業のチカラで、えひめを元気にしていくを旨とし、県内の市町・企業・団体など約330団体が出展、約10万人の人出でにぎわいました。

22日のオープニングセレモニーは津島樹根太鼓の迫力ある演奏で開幕し、野志市長が「松山には頑張っているお店がたくさんあり、そのすこさや素晴らしさを感じてほしい」とあいさつしました。

愛媛の農林水産物などを販売する「市」、産地直送の地域グループなどを集めた「食」、新技術を持つ企業の製品などを展示する「博」の3ゾーンに分かれた会場では、威勢の良い掛け声が飛び交い、朝早くから訪れた大勢の家族連れらは、会場を思い思いに巡り、自慢の味や技術、伝統を楽しんでいました。

また被災地を応援しようと設けられた「東北地方復興支援コーナー」では、多くの来場者が岩手・福島・宮城県の農産物などを買い求めていました。

保存してください。いつかまた お役に立ちます

お問い合わせは、産業政策課 ☎948 6714・FAX 934 184

定着してほしい
会場が広いからこそ、出展することができて、うれしいです。この機会に、「べにふうき」というお茶が中島で採れることを知ってほしいです。空が見えて緑の芝があつて開放感があり、最高の場所です。このイベントが皆さんに定着してほしいですね。



宮下 志乃富さん

出展者の声

活気がある!
お店がたくさんありすぎて、どういう順で回っていくのか、苦労しました(笑)。でも活気があつて、餅つきやゲームに参加して、楽しかったです。つきたてのお餅もあんなにがたつぷりでおいしかったです。来年はもっとたくさんのお味を楽しみたいです。



川口 美乃里さん・彩那ちゃん・颯翔くん(湊町四丁目)

来場者の声